

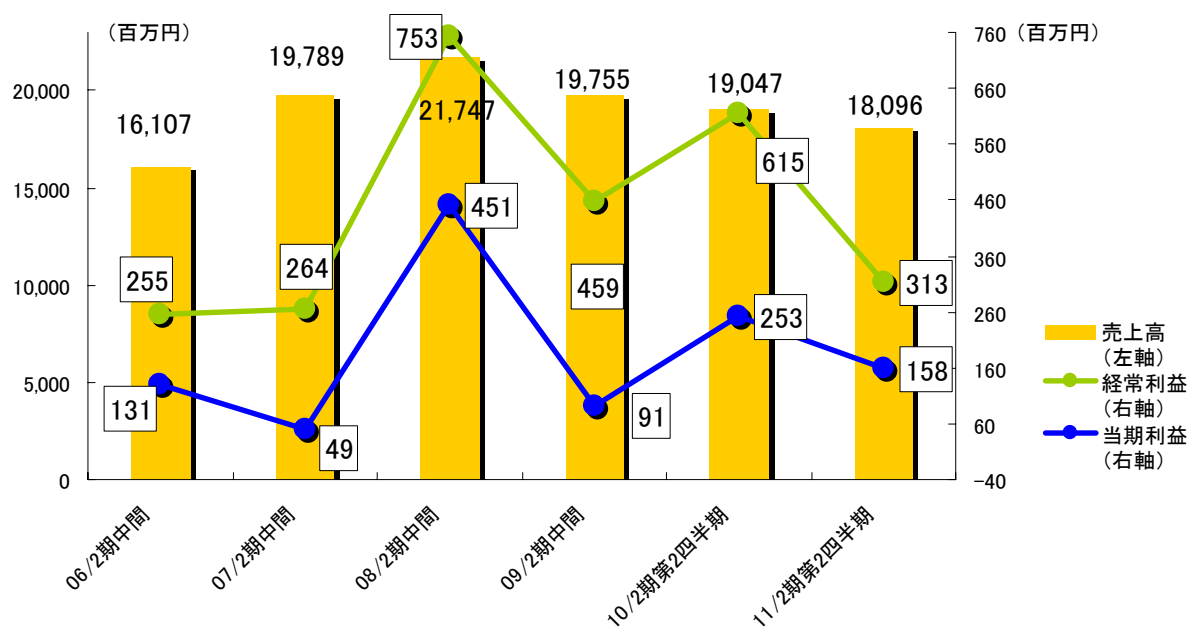
# 株式会社テイツー(JASDAQ7610) 2011年2月期第2四半期業績概要

## ○ 連結業績サマリー

(単位：百万円)

	2009/2期 中間期	2010/2期 第2四半期	2011/2期 第2四半期	(前期比)
連結売上高	19,755	19,047	18,096	-5.0%
(古本市場事業)	17,970	17,434	16,564	-5.0%
(アイ・カフェ事業)	1,567	1,407	1,324	-5.9%
(EC事業)	261	234	239	+2.0%
連結営業利益	483	656	329	-49.7%
連結経常利益	459	615	313	-49.1%
連結当期純利益	91	253	158	-37.7%

## ○ 連結業績推移



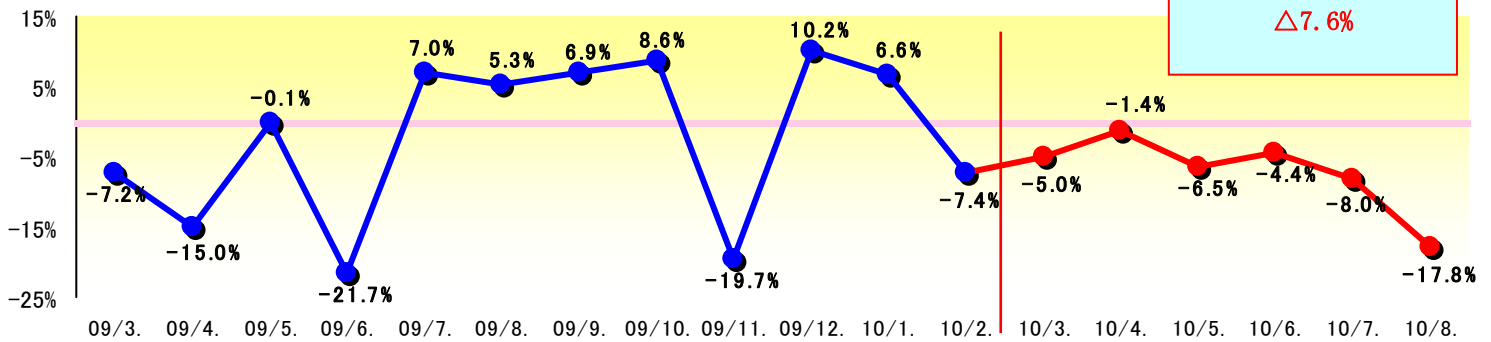
## 1. 古本市場事業の概況

売上高 16,564 百万円 (5.0%減)

営業利益 773 百万円 (30.1%減)

- ・ 個人消費低迷の影響が引き続き影響
- ・ 前年同期の収益を牽引した「ドラゴンクエストIX星の守り人」「モンスターハンター3」などに代わるビッグタイトルがなく、前年同期比で減収
- ・ 減収に伴い売上総利益が減少
- ・ 直営店として古本市場名谷駅前店（兵庫県）、古本市場庄内店（大阪府）を出店

○ 古本市場事業既存店増収率



古本市場 名谷駅前店



古本市場 庄内店

## 2. アイ・カフェ事業

売上高 1,324 百万円 (5.9%減)

営業利益 54 百万円 (52.7%増)

- ・ ライブ動画中継配信サービス「Ustream®」サービスの活用など、新たなサービス拡充を行ったものの、既存店は減収
- ・ 減価償却費の減少、施設人件費圧縮等により、売上原価低下、売上総利益額・率が向上
- ・ 本部経費の圧縮により、営業黒字が定着



USTRAM STUDIO®アキバ

## 3. EC事業の概況

売上高 239 百万円 (2.0%減)

営業利益 10 百万円  
(前期は 13 百万円の営業損失)

- ・ マーケットプレイスにおける販売強化が奏功
- ・ 経費の圧縮を行った結果営業黒字に転換

【 株式会社テイツー 会社概要 】

設 立：1990年4月

代 表 者：代表取締役社長 大橋 康宏

資 本 金：11億6,550万円（2010年8月末現在）

事業内容：「古本市場」の運営（URL：<http://www.tay2.co.jp>, <http://www.furul.net>）

インターネットサイトの運営（URL：<http://www.furulonline.net>）

インターネット・コミックカフェ「アイ・カフェ」の運営

（URL：<http://www.i-cafe.ne.jp>）

本 社：〒700-0974 岡山県岡山市北区今村 650 番 111

東京本部：〒105-0011 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビルA館 8F

店 舗 数：古本市場直営店 99 店、古本市場業務提携・F C店 13 店、ブック・スクウェア 4 店、  
Family Mart3 店、アイ・カフェ直営店 17 店、アイ・カフェ F C店 14 店、合計 150 店  
（2010年8月末現在）

※ 従業員数：正社員 475 名、パート・アルバイト 1,716 名 合計 2,191 名（2010年8月末現在）

注：※マークはテイツーグループに関する情報

【 本リリースに関するお問い合わせ先 】

株式会社テイツー 経営企画部 宮原、徐（ソウ）

TEL:03-5408-5532 FAX:03-5408-5501 e-mail:ir@tay2.co.jp

本資料は、2011年2月期第2四半期連結会計期間の業績及び今後の経営ビジョンに関する資料の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2010年10月12日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後、予告なしに変更されることがあります。